

2025年（令和七年）1月17日

経済産業省
エンタメ・クリエイティブ
産業政策研究会（第3回）
提出資料

株式会社 講談社
代表取締役社長
野間 省伸



KODANSHA

Inspire Impossible Stories



01. 書店振興_意義と課題

- 意義：生成AI時代・国際化の進行において価値判断ができる人の育成には、読書が最重要。また、コンテンツビジネスの振興、なかでも出版にとって、老若男女がアクセスできる書店は重要な意味を持つ
- 課題：書店業全体の課題である、返品・オペレーションの非効率性→収益性低下→中小規模書店を中心にDXの足踏み→コストの上昇・高止まり→経営の苦境

02. 書店振興_望ましい対応

- 対応すべき課題は様々あるが、書店をはじめ様々な声もふまえ、以下2つが大きなポイントと考えている
- ① RFIDタグの普及（単品管理の実現とオペレーション効率化、データ取得によって返品減を図る）
 - ② キャッシュレス決済手数料の料率低減（粗利への影響縮小）